

## 第7回淡路市環境審議会 議事記録

日 時：平成 28 年 1 月 26 日 10:00～12:00

場 所：淡路市役所 2 階 大会議室 1・2

出席者：環境審議会：藤原会長、山崎委員、大上委員、中嶋委員、荒木委員、藤村委員、社領委員、木村委員、城下委員、新阜委員、岡田委員、石倉委員

(3 名欠席：武田会長職務代理、嶽山委員、安田委員)

事務局：柏木市民生活部長、中川生活環境課長、織田生活環境課長補佐

内容：1. 開 会

2. 環境審議会議事録

1) 第 6 回環境審議会 議事要旨

3. 議 事

1) 環境指標の進捗状況について

4. その他

5. 閉 会

議事要旨：

・ 審議会より環境施策と環境行動指針について、行政の環境施策の取り組み状況及び環境指標の進捗状況について事務局に報告を求め、事務局より審議会に報告を行い意見交換が行われた。

以上

議事要旨：

事務局) 市民生活部中川です。宜しくお願ひ致します。

まず、会議に先立ちまして武田委員・嶽山委員・安田委員3名に関しましては仕事の為に欠席されると連絡を受けており、また、社領委員は10分程会議に遅れると先程連絡がありました。

まずお手元の資料を確認して頂きたいと思ひます。

本日の議題 資料1 名簿 資料2 座席表 資料3 としまして第6回淡路市環境審議会議事録をつけさせて頂いています。その後資料4として環境施策と環境行動指針としまして基本計画の計画等の状況一覧を添付しています。資料5としまして環境指標の進捗状況等について添付させて頂いています。

配布している資料につきまして不足等がございましたらお渡しさせて頂きますが、皆様お揃いでしょうか。

それでは、只今から環境審議会を開催させて頂きたいと思ひます。

まず開会に当たりまして淡路市市民生活部柏木部長よりご挨拶を致します。

事務局) 失礼いたします。市民生活部柏木です。本日は第7回淡路市環境審議会ということで開催させて頂いたところ大変お忙し中にも関わりもせずご出席を賜り誠にありがとうございます。平素は市政並びに特に環境衛生事業関係にご支援ご協力を賜っております事に重ねて厚くお礼申し上げます。

さて、今まさに社会経済活動の拡大によりまして地球温暖化や自然の浪費などによって地球規模での深刻な環境問題が生じております。

淡路市としましても様々な環境問題に取り組むため皆様方のご協力のもとようやく昨年3月に淡路市環境基本計画が出来上がっております。

これについては町内会を始め学校、公民館、図書館等に配布させて頂き、皆様方の認識を深めてもらいたいところでございます。

淡路市が合併して10年が経ちましたが、今一度この問題に真摯に取り組んでいかなければならないと考えております。

その中で今回作成しました淡路市環境基本計画をもととして様々な事業に取り組んでいかなければならないと考えます。

また今後はこの会議を年1回程度開催させて頂いて、皆様方から貴重なご意見を頂いてそれぞれの事業に反映させて頂きたいと考えておりますので、今後ともご理解の上ご協力の程宜しくお願ひ申し上げて言葉は足りませんが、開催の挨拶にかえさせて頂きます。どうぞ宜しくお願ひ致します。

事務局) それではこの後の議事等につきまして進行していくわけですが議事に入る前に本日会議の流れについて少しご説明させて頂きたいと思ひます。

この後、お手元の資料4及び5につきまして現状の報告を事務局の方よりさせて頂きます。その内容等につきまして皆様のご意見等がございましたら、出して頂きまして今後、事業に反映させて頂きたいと思ひます。

資料3につきましては、前回の第6回の審議会議事録の用紙を添付させて頂いております。内容等につきましては、本日持ち帰り頂きましてご確認頂きたいと思ひます。

それぞれの修正点等ありましたら恐れ入りますが2月上旬を目途に事務局へご連絡を頂き

たいと思います。

内容の確認等再度事務局でさせて頂きまして、後日、環境基本計画の周知の一環と致しまして淡路市のホームページ等で掲示させて頂き、広く市民の方にとって頂きたいと思っております。

本日は、資料4、資料5によりまして行政の取り組みと環境の指針等について事務局より説明させて頂きたいと思っております。

それでは環境審議会議事に入らせて頂きたいと思っております。

藤原会長議事進行をお願い致します。

会長 ) 今日は、第7回ということで、第6回は平成27年3月で環境基本計画が策定されて、平成28年度、今年度で環境基本計画にどうやって進んでいくか進捗状況をもとに新たにやっていくことになっております。議事次第に従って進めたいと思っております。「環境施策と環境行動指針の行政の環境施策の取り組み状況と環境基本計画（環境指標）の進捗状況について事務局より説明をお願いします。

事務局) (資料4の環境施策と環境行動指針の行政の環境施策の取り組み状況と資料5の環境基本計画（環境指標）の進捗状況について事務局より説明)

会長 ) 事務局より説明がありましたが、委員のみなさんご意見がありましたらお願いします。

審議会) 市では、取り組み等考慮していくとかの表現に置き換えられている。難しいと思うがこう形式上だけの整理をしているような気がします。

もう一点、例えば資料5では平成27年度が終わろうとしているが、すぐ測定できるはずですけど、書かれてないのはどうゆう事に着目して誰が管理しているのか解らない。

管理しなければいけないのか、これは下水道の接続率やいろんな問題もあるわけですけど、そのあたり整理をしなければいけない。

事務局) これについては、都市整備部とも関連し、県、環境関連になるかと思っております。

この数値もこの会議には間に合わなかったということで、数値的には掲載することはできません。

この表の中で、現状値が入っていないところには改めて数値を入れ報告したいと思っております。数値的に統一した年度で比較できるようにさせて頂きたいと思っております。

審議会) 数値で減っているところもあり、年度毎にとんでいるところがある。

記録するのであれば、改善していれば続いて働きかけをするときは、どうゆう手法で働きかけをするのかということまで踏み込んでもらおうと市の姿勢が分かる。

改良するとかそういう市の姿勢がはっきり分からない。

担当課と協議をするのか、具体的な所管が担っているのか。

事務局) 関係部局もありますので協議させて頂きたい。

行政内の環境配慮など、淡路市を発見する基盤作りに入ったところなので、協議することで良くなっていくと思うのでご理解を頂けたらと思っております。

審議会) 色々と市民の方から情報を得る。

その情報をこうであるとか、インターネットのメールで送るとか、市のホームページの中に書き込み欄があって、それを常にどこの部局がチェックするとか、環境については関係部局がどこであるとか、情報がメールで送られてくるとか、そういったシステムを、環境については当局が出来るだけ配慮するではなくそういうのを設けますといった書き方ができない

か。

審議会) 今のご意見のように市民の人の声を聴くのが一番大事。

市民が一番住んでる町の事をよく知っている。

生態系の異常などが海では海藻の増減、池などでは、すっぽんの増加が見受けられるが行政機関で調査をすることはできないのか。

会長 ) ありがとうございます。いろいろあつたりして情報を集めるだけではだめで、小さいレベルでも生態系を調べたりすることなどが淡路市の環境が発展することにつながる。

審議会) それについては、やはり海藻類が生えない、その上に貝類の減少など、かい堀等によって解消していきましょう。プランクトンそれを食べる小魚、それを食べる中魚、それを介してきれいな海に豊かな海にしましょう。それを調べるにはかなりの経費がかかり、市の方でこの環境をこうやって調べてくださいと言われたらものすごい経費が必要になる。税金から支払う事になるので市としてはなかなか言えない。県の方でしてくれていると思う。

会長 ) ありがとうございます。理由までご説明頂いた所で納得できるわけです。そこまで皆さんで共有できるといいですね。あつ、そうなんだ、そしたらどうしたらいいんだ、その情報交流の場が気楽にあつて、ホームページなどでこんなことが分かりましたとか、情報共有できましたとか、数値をホームページに出すよりよっぽど皆さんにみて頂けるのでは、そんなところがどこかでできればいいのではないかと、今の話だったかなと思います。

審議会) 例えば、グーグル等でアンサーを選べるようなシステムがあつて、学識のある方がアンサーしてくれたりして無料なんです。それを参考にして、調査したいけど誰かやってくれませんかとか投げかけて、大学院生等が来たりするだけで調査してくれたりとか、そういう若い力を利用できたらと思います。

事務局) 可能かどうか検討をします。

審議会) 竹チップボイラーがあらゆるところに出てくるが、市民の協力を得て竹チップボイラーを生かすプロジェクト、ボランティア的なもので楽しみながらやっていけるプロジェクトを作ってもいいのではないか。

事務局) 燃焼効率の問題とかもあつて、やるからには採算もある程度とれないといけない。

それとコスト面などを考えると非効率な事業かなと聞いており、実際やるにあたってはもう少し研究とかがいるのではという気がします。

会長 ) たとえば、淡路島では世帯数が5万世帯強ありますが、一家に一台竹チップボイラーがあれば、1日2時間利用すると淡路の竹はなくなる。また再生はするが、色んなアンケートを取ると街中では煙が問題なので街中で使えない。比較的中腹の農家の方々に使って頂くと竹も自前で取ってきて燃料代のお金もいなくなり、山も綺麗になり、かなり進んでいくと思いますが、ただ手間がかかるというのが一番ですので、本格的にやろうとすれば随分違ってくると思いますが、ある程度大量に、ただすべてがうまくいっているわけではなく、改良は多いに必要なところもありますが、実用の段階に来ていると思います。

審議会) 堆肥に混ぜる方法が出来れば、燃やすよりもっと使えるかもしれないので少し研究してはどうか。

会長 ) 量が多いのでいろんなものに使っていかないといけない。その一つとして堆肥、竹チップ燃焼、田んぼの排水材として、利用することにより循環付加価値を高めていく、淡路市には資源があるのでうまく使えばいい。

審議会) 竹を切ってチップにする場合は、機械を貸してくれたり、竹チップの保管場所を作って市民が取りにきて利用するようにすればいいのではないか。

審議会) 需要のバランスがあり、使い手が限られている。

審議会) チップにすれば結構使いやすいのではないか。

審議会) 竹チップで燃料に使用ということだけでなく、竹林が増えてしまっている。

それを回収するための施策でもあるわけです。

猪が増えて補助金を出しているように、竹林を整備するのにたとえ赤字をだしても育成していくような対策も必要になってくるかもしれない。

事務局) いづれにしても今出ている問題について、担当部局でそういった補助メニューがあるかどうか。

審議会) 淡路島内のレンタル会社に淡路に竹をチップにする機械を置くように働きかけではどうか。

審議会) 少し大き目のチップは、ゆうゆうライフで燃焼用に使います。南あわじ市では、民間の企業で肥料化しているところもあります。竹チップのボイラーが洲本市にも導入される予定なので参考にしてはどうか。

審議会) 先ほどから竹の話がでていますが、農家への一つの啓蒙として今たけのこが、輸入もあるが非常に値上がりをしているんです。すごく値段が高くなって農家への啓蒙として、逆に竹林の育成をして、たけのこで儲けようと、そういうふうな事でもいけるのではないかとも思います。

それと、空き家についてですが、津名管轄内で空きは確かにあるんです。大家さんに聞いたら、中の掃除が出来てないとか、人に貸すようなことは考えてないとか、若い夫婦で子供1人作って農業をやりたいといった人が、宙に浮いたままなんです。空き家対策も書いてありましたが、具体的に人に貸せるような空き家にしてあげれば若い人が定着するのではと思います。施策としてインターネットに出せば殺到するのではないかと思います。

事務局) 老朽空き家対策の推進について、今後、市の体制を検討する予定であり、まずは空き家の実態調査を実施すべきと考えております。

審議会) 学校関係ですけど、教育に関して小学校3年生の環境教育、小学校4年生も行っています。環境に関して言いますと学校関係PTAも協力しながら廃品回収の事業を行っています。

地域の方にもすごく協力して頂いているのですが、いろいろと事情を聞きますと、やっぱり資源ゴミをエコセンターへ持って行くことができないとか、年2回の廃品回収が凄く助かるとお聞きします。

淡路市の方は、学校再編が進んでおり、それまでの学校行事PTA活動を見直しされて廃品回収も今後どうなるかとすごく不安を抱えています。

本校でも今年度実施した時、児童数は143名+6ぐらいですが、150人近い保護者の方、職員も出て土日でボランティアを行っています。校区も広がっているので、なかなか50人で回って回収というのが難しくなっているのが実状です。これは再編して校区が広くなればなるほど難しいですが続けていけたらなと思っています。

中には、アルミ缶とか、新聞紙とか、お金になるものも集めるんですが、手間を考えた時にスチール缶や、ましてや食用油排油の回収まではなかなかできていないのが現状です。

そのあたりでさらに発展させていこうというときには知恵が必要かなと思っています。

会長) 市の回収と小中学校での回収とを役割分担してもいいのではないか。中学校で回収した分は

資金化し学校で使えるとか、少なくともマイナスにはできない。逆に市としては、環境のため税金で行う必要がなくなる。小中学校では回収してお金になり、市としては手間がかからない。

事務局) 今日は、貴重なご意見を頂き、それぞれ担当部局があるわけですが、環境基本計画なども一般に配布させて頂いていますので、今日出して頂いたご意見をこちらの方でまとめ部長級会議にて提案させて頂いて、それぞれの関係部局で、どういったことが可能なのか意見を徴収したいなと思いますので、今後ともいろんなご意見をお出しただけたらと思います。宜しくお願いします。

会長 ) 具体的にホームページ等へ書き込むことや、どのような補助金でやっているなどを書き込むとよくわかるのではないかと思います。

事務局) ホームページなども有効活用させて頂いて書き込み等を検討したいと思います。

事務局) 委員の皆様からの貴重なご意見を頂きありがとうございました。市としても皆さんから頂いたご意見をまとめたうえで改めてご報告させて頂きたと思います。環境の進捗状況については、皆さんから頂きましたご意見を反映させて頂き、年度統一し比較できるように公表していきたいと思います。

以上